

## 第540回番組審議会報告

開催日 : 令和7年9月24日(水)  
場所 : 山形グランドホテル  
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／中川愛美 委員／堀内史子 委員／齋藤義紀 委員／佐藤善哉 委員  
／黒川和久 委員  
議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

### ◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長
3. 意見集約

◇ 第94回系列番組審議会 委員代表者会議 テーマ

地上波テレビとコンプライアンス

～テレビの信頼回復にむけて～

### ◎その他

内容 : 地上波テレビへの信頼が揺らいでいる。

視聴率至上主義、ハラスメントに寛容な業界の慣習…フジテレビの問題を調査した第三者委員会は、この問題が「フジテレビ固有のものではなく、メディア・エンターテインメント業界における構造的な課題」だと批判した。「放送の公共性を重んじ、基本的人権を尊重した放送」を使命としたテレビ局のコンプライアンス欠如が問題視されている。

社会からの信頼を取り戻すため、地上波テレビはコンプライアンスとどのように向き合い、メディアとしての社会的責任を果たすべきかを考える。

委員からは、

「番組制作でもニュースでも、ジェンダー平等を意識して作っていくべきではないか。フジテレビ問題の根底にあるのは、現実に残っている女性と男性の根強い役割分担の意識。そのまま社会の仕組みだと感じている。」

「人種などへの差別には不寛容な立場を貫いてほしい。未だに、人種や民族、国籍、職業、地域などに関する偏見は根強いと感じる。」

「信頼されるテレビというものを保っていくには、視聴率至上主義ではない判断も必要だと思う。」

「人権を犠牲にする姿勢とは決別して、多様性を重んじる業界に進んでほしい。」

「倫理観は時代とともに変わり、その変化の区切りがわからない。静かに変遷していく部分があると思う。今言われている問題は、そうした変化に気付けないまま従来のやり方を続けてきたことで起きたのではないか。本来メディアというのは、そうした部分にいち早く着目して、応じて行動しなければならない立場だと思うので、そういった感覚・感性を再確認する必要がある。」

「テレビ業界だけでなく、全ての業種に法令遵守が求められている。」

などの意見が出されました。

以上